

commons 30+しずぎんファンド

追加型投信 / 内外 / 株式



基準価額の推移

2014年12月29日 ~ 2023年9月29日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により遞減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2014年12月29日 ~ 2023年9月29日

基準価額

20,086 円

(前月末比)

△561 円 (△2.72%)

純資産総額

16.9 億円

(前月末比)

△0.8億円 (△4.50%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	△2.72%
3ヵ月	△1.93%
6ヵ月	12.87%
1年	27.20%
3年	49.44%
5年	43.77%
10年	-
設定来	100.86%

分配金（1万口当たり、税引前）

決算期	分配金
2018年12月	0円
2019年12月	0円
2020年12月	0円
2021年12月	0円
2022年12月	0円
設定来合計	0円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配後です。※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの構成比

種別	比率
コモンズ30ファンドマザー	90.7
静岡銀行株式	8.3
現金等・その他	1.0
構成銘柄数	33社



ポートフォリオの状況

業種別比率

機械	21.0%
電気機器	13.5%
化学	13.3%
卸売業	8.3%
サービス業	8.0%
輸送用機器	7.0%
食料品	4.2%
情報・通信業	3.7%
金属製品	3.2%
小売業	3.1%
医薬品	2.9%
建設業	2.6%
その他製品	2.6%
陸運業	1.6%
その他	5.0%

未来コンセプト別比率

精密テクノロジー	14.9%
ウェルネス	14.8%
生活ソリューション	14.0%
資源・エネルギー	10.9%
快適空間	9.4%
新素材	8.6%
未来移動体	7.0%
地球開発	6.6%
ライフサイクル	5.3%
社会インフラ	3.4%
その他	5.0%

組入上位10銘柄

銘柄	未来コンセプト	銘柄概要	組入比率
1 ディスコ	精密テクノロジー	kiru、kezuru、migaku、世界を代表する精密加工装置メーカー	4.7%
2 三菱商事	資源・エネルギー	変化に強い組織力で、進化し続ける	4.3%
3 味の素	ウェルネス	「食と健康の課題解決企業」としての認知を広め、コーポレートブランド価値向上を目指す	4.2%
4 丸紅	資源・エネルギー	規律ある経営で収益を積み重ね、いつか総合商社ナンバーズリーに	4.0%
5 信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.8%
6 KADOKAWA	生活ソリューション	IP創出力とIT技術力に支えられ、変化を恐れず挑戦し続ける	3.7%
7 デンソー	未来移動体	モビリティ社会で価値を創造し続ける	3.7%
8 東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが脈々と続く「革新」を続けるグローバル企業	3.6%
9 SMC	精密テクノロジー	工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ	3.5%
10 ユニ・チャーム	ライフサイクル	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長	3.5%

※「業種別構成比」「未来コンセプト別比率」「組入上位10銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載になります。※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。※その他とは現金等を指します。

◎「未来コンセプト」とは、当ファンドが行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」



運用状況

◎運用レビュー

9月のファンドの月間リターンは▲2.72%の下落となりました。

◎運用責任者メッセージ

9月の内外株式市場は、米国長期金利の上昇（10年国債が2007年10月以来の利回りとなる4.6%を超える）で世界的に株価は下落する相場展開でした。特に、米国ではテクノロジー株の下落が顕著でした。また、原油高も金融引き締めを連想させました。国内株式市場は、中旬にかけて株価は上昇していましたが、月末にかけては米国株の下落に連動しました。米国金利上昇、原油高、配当取りの動きなどから鉱業、銀行業、石油石炭、保険業などの大型割安株が選好されました。

当マザーファンドは、月間で▲3.15%の下落、投資先32銘柄中4銘柄が値上がり、28銘柄が値下がりとなりました。同期間のTOPIX（東証株価指数；配当込）は+0.51%の上昇、日経平均株価は▲2.34%の下落となりました。

当マザーファンドの株式の組入比率は、95.0%と前月比+1.0%の上昇となりました。個別銘柄の月間騰落率では楽天G+7.88%、ホンダ+7.29%、日揮HD+6.81%が上位3銘柄となりパフォーマンスをけん引しました。下位3銘柄は、KADOKAWA▲12.69%、カカクコム▲12.56%、資生堂▲11.26%となりました。当月、上場来高値を更新した銘柄はコマツ、日立製作所、デンソー、ホンダ、三菱商事（銘柄コード順）の5銘柄、年初来高値を更新した銘柄は9銘柄ありました。なお、当月は新たに1銘柄の組み入れが始まり投資銘柄数は32銘柄となっています。当該銘柄の組み入れが一定の比率になりましたら銘柄の開示を行う予定です。

当面の国内株式市場は、引き続き、米国のインフレ動向と金融政策を中心に相場の転換点を探る動きで、年末年始に向けて再び騰勢を強めていくと想定しています。

9月は、第1回「モーニングスター・ファンド・アワード」国内株式部門において、当ファンドと同じマザーファンドで運用しているコモンズ30ファンドが最優秀賞を受賞することが出来ました。長期的な資産形成を目指す投資家目線で選ぶことに特徴のある同アワード、まさに、お客様とともに受賞したと思っています。引き続き、丁寧な運用を継続していきます。どうぞ、ご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

投資委員会メンバー

○伊井哲朗、上野武昭、末山仁、原嶋亮介、古川輝之/○は最高運用責任者

組入比率と組入銘柄については、マザーファンドについての記載となります。



新規組入投資先

9月は新規組入銘柄が1銘柄ありましたが、一定の組入比率に達しましたらご紹介させていただきます。



今月のピック！

■ (7267) ホンダ

ホンダは9月29日、統合報告書「Honda Report 2023」を発行しました。そのなかで、EV事業について、2031年3月期に営業利益率5%以上、2030年代には同10%以上とする目標を初めて明らかにしました。ホンダは、従来から、2040年に新車販売のすべてを、EVとFCV（燃料電池車）にする方針を掲げています。2025年までは、ICE（内燃機関・エンジン）製品が販売の中心となります。2025年以降は、ICE製品からEVへの事業転換が進むというものです。

ホンダの現状の経営課題として、四輪事業の収益性の低さがあげられます。同社の四輪事業の営業利益率は24年3月期第1四半期（4-6月）で5.8%にとどまります（全社平均の営業利益率は8.5%）。25年以降のEV投入前までに、ICE製品の収益体質強化がより進んでいくことを期待しています。

シニア・アナリスト 上野 武昭

■ (6301) コマツ

コマツが7月28日に発表した2023年第1四半期決算は、売上高8,995億円(前年同期比+17.8%)、営業利益1,470億円(同+57.1%)となりました。営業利益の年度計画比進捗率は30%程度と好調ですが、年度見通しは据え置きとなりました。油圧ショベルを中心とした建設機械セグメントで、インフレによる金利上昇の影響で欧州を中心に需要見通しを4月時点の見通しから▲5%程度引き下げたことが主因です。

一方で鉱山機械セグメントは、東南アジアにおけるニッケルを中心とした希少金属レアメタル等の需要が好調の為、需要見通しは4月計画から変更はありませんでした。同セグメントは、2022年度の成長率が高かった影響もあり、2023年度は前年比▲4%の売上高計画です。ただ、部品・サービスなどのアフターマーケットシェアが同セグメント全体の7割を占めるストック型ビジネスの為、機械本体の延長保証サービスを付与しながら、同社の純正部品の利用促進に繋げる取り組みを進めており、安定した収益基盤が確立されております。

アナリスト 古川 輝之

■ (4523) エーザイ

エーザイと米バイオジェン社が共同開発しているアルツハイマー病治療薬「レカネマブ」は、アメリカでの7月6日の正式承認に続き、日本でも9月25日に製造販売が正式に承認されました。薬価の審議などを経て、早ければ年内に保険診療が開始される見通しです。

7月に承認されたアメリカでの販売価格は1人当たり年26,500ドル（約400万円）。日本での販売価格も年間数百万円になる可能性があります。日本では高額療養費制度により患者負担は年間十数万円程度に抑えられる見込みです。

今後の見通しとしては、以前にもご紹介したように、アルツハイマー病の原因物質とされているAβ（アミロイド・ベータ）の脳内での蓄積の検査が普及拡大のポイントになります。脳機能PET（陽電子放出断層撮影）検査とCSF検査（脳脊髄液を調べる検査）などAβ検査の保険適用の進捗や、簡便かつ安価での検査が可能となる血液による検査精度の向上、それに伴い血液検査がアルツハイマー病の確定診断方法として確立されること、などが期待されています。

アメリカ、日本に続いて欧州や中国でも2023年度中に承認される見込みです。

引き続き「レカネマブ」の普及拡大に向けた利便性の向上など進捗状況を確認し、適宜ご報告いたします。

シニア・アナリスト 末山 仁



伊井さん、何でも聞いていいですか？

9月13日（水）に、「伊井さん、何でも聞いていいですか？」を開催しました。このセミナーはみなさまからの質問に、コモンズ投信の代表であり最高運用責任者の伊井が、何でもお答えしていくという内容です。



私は現在、静岡銀行からコモンズ投信に出向をしておりますが、「伊井さん、何でも聞いていいですか？」の企画を聞いた際、**運用会社の中のメンバー、しかも運用責任者とお客様が直接対話できる機会があることにまず驚きました**。これまで運用会社の方針は、月次レポートや不定期のセミナーで確認していたので、運用会社・お客様双方に声を届けあうことができるのはコモンズならではの魅力だと感じます。

セミナー当日は、お答えしきれないくらいの質問が集まりました。ファンドに関することはもちろん、新規投資先や、最近のニュースに対する考え、コモンズが描く日本の未来など、伊井がバンバンお答えしていましたが、あっという間の1時間でした。

今回特に注目が集まったのは、組入企業で不祥事があった際の対応や、組入銘柄の売却を決断するまでの経緯についてでした。直近で話題となった、コモンズの投資先と同業界で起きた不祥事に対する考えや対応の仕方、過去に売却した銘柄への想いを中心に伊井が回答し、よりコモンズの運用について理解を深めていただけたのではないかと思います。

■参加者の声

- ・経営者の話を直接聞ける機会はなかなかないですし、考え方を直に聞くのは安心につながります。特に投資先の不祥事についてはいち早く対応方針を知りたいので、本日は聞いてよかったです。（30代・男性）
- ・伊井さんは忍耐強く投資初心者にわかりやすくご説明くださいます。また経験者にもレベルに合わせてお話しされます。（70代・女性）

今回のセミナーに限ったことではありませんが、コモンズはお客様が心配に思っていることや分からないと感じている疑問については、どんなにネガティブな質問でも誠実にお答えし納得いただけるよう努めています。また、新NISAや運用状況・投資先などの最新情報についても、定期的にお届けする機会を設けておりますので、困ったときにはいつでもご相談いただけるようになっています。

投資に変動はつきものですが、ご自身がどのような目的で、何に投資をしているかが明確になると、日々の変動に一喜一憂することなく、より一層、資産形成を楽しめるようになると思います。

困ったらコモンズが居る。そんな安心感が、ハラハラドキドキしない、みなさまの長期投資に繋がっていくと嬉しいです。

マーケティング部 森田 菜月





未来がはじまる場所になる。

第3回目：静岡銀行 東部カンパニー 長堀新司さん

当ファンドの投資先企業である、しずおかフィナンシャルグループ（以下：しずおかFG）における取組みを紹介するコーナーです。

コモンズ30+しずぎんファンドは、環境の変化やグローバルな競争が激しい時代を乗り越え、豊かな生活と地域社会への貢献を目指す未来志向な地域金融の実現を、地域の金融機関への投資を通じて目指すファンドです。

「未来がはじまる場所になる。」をスローガンに掲げる、しずおかFGが地域の明るい未来に向けてどのようなマテリアリティ（取り組むべき重要課題）に取り組む、社会価値の創造と企業価値の向上の両立の実現に向けた挑戦を続けているのか、しずおかFGの従業員の皆さんとの対話を通じてご紹介していきます。

第3回目は、【静岡銀行 東部カンパニー 長堀新司さん】です！

Profile：静銀ティーエム証券商品部→（静岡銀行出向）沼津支店→（2021年静岡銀行転籍）磐田支店→東部カンパニー※

※静岡県東部地区の各営業店を統括する部署。営業店のサポートや、法人・個人の垣根を超えたお客さまの課題解決（相続やビジネスマッチングなど多岐にわたる）に取り組む。

森田：長堀さんは静銀ティーエム証券から静岡銀行に転籍をされているんですね。新たなチャレンジを続けるにあたり、大切にされてきた想いや考えはありますか？

長堀さん：「金融で社会に貢献したい」という想いを一貫して持ち続けています。また、個人や所属部署だけで考えるのではなく、グループ内外とも連携し、どのような形で社会に貢献できるかを考えるようにしています。

しずおかフィナンシャルグループには、自らの夢や実現したいことを発信すれば、賛同し協力してくれる仲間がたくさんいます。これからも、常に考え、行動しつづけることで、さまざまな挑戦ができるステージに立つことを大切にしたいと思います。



長堀さん

森田：所属部署でのマテリアリティ（重要課題）に対する取組みを教えてください。

長堀さん：「地域社会の健全な成長」の実現に向けて、静岡県東部地区における新たな価値の創造に取り組むなかで、地域やグループ内外との“繋がり”を大切に活動しています。

私が所属する東部カンパニーでは、お客さまのさまざまな要望や課題に対し、専門知識やスキルを持つメンバーが知見を持ち寄りお応えしています。相続や事業承継、不動産の活用、金融経済教育など、お客さまのニーズが多様化・高度化するなかでは、分野を超えた提案やサポートが重要となります。

そのためにも、外部企業との連携強化を図るなど、これまで以上に周囲との“繋がり”を大切にしながら、地域やお客さまの課題解決を支援することで、新たな価値を創造する役割を果たしていきたいと思っています。

森田：具体的にはどのようなアクションを起こされていますか？

長堀さん：現在は、金融経済教育を広めることで個人の資産形成を推進し、「地域社会を豊かにする」という大きな目標に向け、既存業務と並行して新たな挑戦を続けています。

具体的には、営業店と連携し、高校生を対象とした金融経済教育の授業を実施したり、企業を訪問し、職域セミナーを開催しています。また、社外の友人とも定期的に意見交換し、新たな発想を業務に活かすよう心がけています。常にアンテナを高く、周囲を巻き込みながら行動を続けることで、少しでも世の中に変化を生みだしていきたいです。



同僚と意見交換する長堀さん
(右)

森田：長堀さんがイメージする、未来のしずおかFGの姿を教えてください。

長堀さん：金融業の枠にとどまらない、「よろず相談窓口」のような存在を目指したいです。まさにしずおかFGの中期経営計画のビジョンである「**未来へつなぐ新たな価値を創造する課題解決型企业グループ**」が理想です。

家族に相談しづらいことでも、しずおかFGであれば安心して相談できる。そういった関係を地域のみなさまと築いていきたいと思っています。

森田：しずおかFGに関わる方々へ、メッセージをお願いいたします。

長堀さん：これまで銀行業は変革がない業種とよく言われてきました。だからこそ今、変わらなければならない、伸びしろのあるフィールドだと思います。私の周りにはたくさん面白いメンバーがいますので、明るく楽しい未来をともに創造していきます。**進化するしずおかFG**に、ぜひご期待ください！！

マーケティング部 森田 菜月



ちょっといい話

【日本株ファンドで最優秀賞受賞！】

今回は、皆さんと嬉しいニュースを共有させていただきます。

この度、世界で16万本以上の投資信託に評価ポイント（レーティング）を付与している、世界的な投信評価会社である米国モーニングスター社が日本で初めて行うファンドアワード、第1回「モーニングスター・ファンド・アワード」日本株式部門において、『**コモンズ30ファンド**』が最優秀賞をいただきました！

*当ファンドの約90%がこのコモンズ30ファンドのマザーファンドで構成されています。

同社の評価は、あくまで投資家目線で選考されるとして、世界的に投資家から支持されています。

日本で、その世界的な基準で行う第1回目のアワードです。リターンとリスクは、1年、3年、5年で定量的に行われ、さらに運用会社、運用プロセス、運用担当者が定性的に評価されます。まさに、長期的な資産形成を考えれば重要な要素ばかりです。

同社は、この賞を、『これまで長期にわたって投資家の皆様の成功に貢献し、今後も高いリスク調整後リターンを長期的に提供できるとモーニングスターのマネージャー・リサーチチームが判断したファンドを表彰するもの』と位置づけています。折しも、日本政府が資産運用立国を目指し、来年からは新NISAもはじまるタイミングでの受賞には、身が引き締まる思いです。

国内外の有力な運用会社がしのぎを削る日本株ファンドで独立系の当社が受賞となったこと、さらに短期的な売買でのリターンではなく、リターンの源泉が長期的な企業価値の向上にあるところに、**資産運用立国のヒント**があるかもしれません。

改めて、皆さまに心から御礼申し上げます。そして創業以来のコモンズの株主、社員、スタッフにも感謝しています。

日本株のアクティブファンドでも、世界のトップファンドの変わらぬ選考基準で評価された背景には、日本企業の中にも世界的に優れている企業が少なくないことも意味していると思います。

世界経済も社会情勢も不透明な時代が続いていますが、外部環境の変化を乗り越えて長期的に成長する企業は存在します。引き続き、地道で丁寧な調査・運用を続けて参ります。

どうぞ、これからもご期待ください。

(リリースはこちら)

<https://www.common30.jp/customer/2974/>

代表取締役社長兼最高運用責任者 伊井 哲朗



Awards
2023™

■第1回「モーニングスター・ファンド・アワード」
日本株式部門 最優秀賞 受賞！

Morningstar Awards2023©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

コモンズ30ファンドが日本の国内株式部門のモーニングスター・ファンド・アワード最優秀賞を受賞



●モーニングスター・ファンド・アワードについて

アワードは、リスク調整済みの中長期的なパフォーマンス実績と、ファンドの将来に関するモーニングスターの評価であるモーニングスター・メダリスト・レーティング™の組み合わせによって決定されます。アワードは毎年行われており、ファンドの1年間のパフォーマンスを重視するのは適切であると考えていますが、ファンドはリスクを調整後の3年および5年で高い相対リターンを達成している必要があります。また、長期的にアウトパフォームし続ける潜在力についての将来的な評価を反映するため、モーニングスターのメダリスト・レーティングでポジティブ（金 / 銀 / 銅）の評価を得たファンドを選出の際に優先します。

※本文中に記載の内容はすべて過去の実績であり、将来の成果を予想・あるいは保証するものではありません。



販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会		
		一般社団法人 日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会 第二種金融商品 取引業協会
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第10号	○		
株式会社 SBI 新生銀行（委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関 関東財務局長（登金）第10号	○		○



投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお申し上げます。

なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動およびカントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.3%（消費税込）が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.265%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料（費用）等の合計額については、運用状況、保有機関等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/内外/株式
	信託設定日	2014年12月29日
	信託期間	無期限（ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。）
	決算日	原則として毎年12月18日（休業日のときは、翌営業日を決算日とします。）
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
	換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ・本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ・ファンドの組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。
- ・このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先

- コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）03-3221-8730
- ウェブサイト <https://www.common30.jp/>